

慶祝

おめでとうございます
心より祝福いたします

会務報告

令和元年9月〜令和2年2月

- ◎秋田県社会福祉功労者 (令和元年後期)
秋田県知事表彰
鈴木 夏代 様 (栖山寺小路 小松 勇 様 (栖山石塚町))
- ◎秋田市社会福祉功労者
秋田市社会福祉協議会会長表彰
藤原 賢一 様 (栖山川口境)

地区へのご篤志

- (令和元年8月〜令和2年2月)
○ご香典返し
1万円 (亡父) 佐々木正次さん
栖山城南町 佐々木正明 様
- ご芳志
5千円 南通みその町 高桑 博 様
1万円 栖山南中町 加藤 俊悦 様

本地区社協

定期総会の開催予告

令和2年度の築山地区社会福祉協議会の定期総会は、左記のとおり開催します

日時 4月25日(土)午後2時
場所 栖山コミュニティセンター

9月1日 「築山社協だより第56号」を発行し、民生委員、町内会長を介して全世帯に配布

9月1日 敬老会該当者全員に町内会長の協力を得て、商品券の配布を開始

9月3日 秋田市共同募金委員会の運営委員会に会長が出席

9月5日 秋田市共同募金委員会主催の「研修会及び地区会長・事務担当者会議」に会長と鈴木副会長が出席

9月17日 社協役員、民生委員の協力により地区敬老会の会場設営と準備

9月18日 恒例の地区敬老会式典及び祝賀会を栖山コミセンで開催

10月1日 赤い羽根共同募金運動を推進

10月3日 赤い羽根共同募金運動の街頭募金(秋田駅前)に会長と京屋副会長が参加

10月23日 日赤秋田県支部職員の協力により「築山地区防災研修会②」を開催

10月26日 「グラウンドゴルフ大会」を栖山緑地公園で開催

11月8日 「秋田市社会福祉大会(市文化会館で開催)」に役員多数参加

11月16日 「軽スポーツ大会」を栖山コミセンで開催

11月16日 地区内の老人クラブ、福

社関係諸団体、子育て支援施設等に助成金を贈呈

11月18日 「築山社協だより編集委員会」を栖山コミセンで開催

12月1日 地域歳末たすけあい運動の推進

12月中旬 「秋田市社協だより」の配布準備作業を実施

12月26日 地区歳末たすけあい募金配分会を開催し、歳末たすけあい運動の善意を地区内の要援護世帯等へ一律5千円を民生委員を介して配布。地区の福祉施設に果物を贈呈。また、75歳以上の一人暮らしの高齢者・80歳以上の高齢夫婦のみの世帯にお茶を持参し激励訪問を開始

1月11日 「築山地区民生児童委員協議会」に会長が出席

1月14日 みどり保育園児を招き「幼児と高齢者の集い」を栖山コミセンで開催

1月24日 「市社協連絡会研修会」に会長と鈴木・工藤両副会長が出席

1月26日 「築山学区町内会長連絡協議会新年会」に会長が出席

1月28日 「市地域福祉推進関係者連絡会」に会長が出席

2月7日 「市社協Bブロック地域交流研修会」に会長と鈴木副会長が出席

2月11日 「栖山かまくらまつり」に役員が多数参加

2月18日 「市社協事務担当者研修会」に会長と京屋副会長が出席

◆編集後記◆

内閣府の推計によると、仕事などを避けて半年以上家にいる40〜64歳のひきこもり状態の人が、約61万人いるのは驚く。厚生労働省ではひきこもりを中心として、介護、困窮といった問題を抱えている家庭に対応するため、市区町村の体制整備を促している▼近年、血縁や地域のつながりが薄れ家庭内の問題は外側から見えづらくなった。特にひきこもりの問題は長年見逃されているようにだ▼ひきこもりに対する周囲の無理解や偏見が当事者たちを苦しめているケースも少なくない。正しい知識を持ち、社会全体で支援を拡大していくことが大切ではなからうか▼秋田県がどう対応しているかについては、県精神保健福祉センター(仲小路)の飯塚専門員からご寄稿(6面参照)を頂き、様々な取り組みを承った▼本人や家族が窓口に行けないケースもあるので関係機関、NPO(営利を目的としない市民活動、社会福祉法人などと連携し、組織的に関わる「伴走型」の支援も必要になるだろう▼ひきこもり状態にある当事者や、その家族をどう支えていくのか。人それぞれ生活観、価値観が異なる中、向き合い方を探り、孤独感のない有意義な人生を全うさせたいものだ。(北條 晃)

編集委員

- 北條 晃
- 加藤 俊悦
- 鈴木 夏代
- 京屋 均

築山社協だより

第57号

令和2年3月1日

築山地区社会福祉協議会

発行人 加藤 俊悦
(題字：茂林 憲子)

築山小児童温かく見守られ



登下校時の通学路、築山小児童の元気な声が聞こえ、それを温かく見守る地域の人たちがよく見られます。それだけでなく太平川の花見(右上)、交番やコミセンなどを訪問する町探検(右下)、安全ボランティアへの感謝集会(左上)、地区大運動会への参加(左下)など、地域との交流が深められています。

地域の願いに支えられて

秋田市立築山小学校

校長 大友 智加司

敬老会の折りに、あるご婦人から、「こちらから子どもにあいさつをしてもいいのですか。」と尋ねられました。「是非お願いいたします。」と答えましたが、会話の端々に、地域の子どもの健やかな成長を願う温かさが伝わってきました。大変うれしい気持ちになりました。

築山小学校は、たくさんの方々の願いに支えられている学校です。「安全・安心」の活動に関しては、「築山小学校安全ネットワーク」の組織を中心に、登下校の見守り活動を行ってくださっています。五月に行われた感謝集会では、参加者の方に一言ずつお話をいただきました。子どもたちをとてても大切に思い、心から安全を願っているという気持ちが強く感じられました。雨の日も風の日も、欠かさずに街頭に立つてくださる皆様には感謝するばかりです。

また、竿燈まつり部は、共和町竿燈会からの全面的な支援で成り立っています。差し手やお囃子に関する専門的なご指導により、子どもたちは、めきめきと上達します。後継者の育成だけでなく、竿燈まつりを通して、伝統の重さや素晴らしさを肌で感じ取ってほしいです。

少子化の秋田県にありながら、本校では、今年度、そして来年度と児童数の増加が見られます。地域の願いに感謝し、自分も地域に役立つ人間になりたいと思える活動を充実させることで、地域の活性化の一翼を担っていきたく思います。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

令和元年度各種募金運動実績及び社協会費納入報告書

町内会・各学園等、皆様のご協力で厚くお礼を申し上げます。

単位：円

| No | 町内会名 | 日赤会費 | 赤い羽根 | 歳末募金 | 社協会費 | No | 町内会名 | 日赤会費 | 赤い羽根 | 歳末募金 | 社協会費 |
|----|-----------|---------|---------|--------|--------|-------------|----------|-----------|-----------|---------|-----------|
| 1 | 宮田 | 48,000 | 48,000 | 18,200 | 50,400 | 39 | 登町東部 | 15,500 | 40,000 | 5,850 | 16,560 |
| 2 | JR宮田自治会北 | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 24,840 | 40 | 登町中央部平和会 | 10,000 | 11,000 | 4,550 | 12,240 |
| 3 | イーストハイム宮田 | 10,000 | 22,200 | 4,810 | 14,400 | 41 | 登町西部 | 25,000 | 30,000 | 6,500 | 17,280 |
| 4 | 築地北町 | 17,500 | 16,600 | 2,860 | 7,920 | 42 | 亀ノ丁栄町 | 6,500 | 12,000 | 2,080 | 5,760 |
| 5 | 築地東上町 | 15,500 | 18,400 | 3,770 | 10,440 | 43 | 餌刺町 | 40,000 | 34,000 | 10,000 | 22,680 |
| 6 | 築地窪町 | 12,000 | 13,600 | 2,080 | 5,760 | 44 | 九郎兵衛殿町 | 25,400 | 22,500 | 5,850 | 16,920 |
| 7 | 築地上本町 | 19,000 | 22,800 | 4,940 | 13,680 | 45 | 笹町 | 23,000 | 20,600 | 8,060 | 22,320 |
| 8 | 築地下本町 | 20,000 | 23,000 | 4,940 | 13,680 | 46 | 三枚橋町 | 38,400 | 50,400 | 8,320 | 23,040 |
| 9 | 築地中町 | 11,500 | 11,000 | 5,000 | 18,000 | 47 | 愛宕下東丁 | 7,500 | 12,000 | 1,950 | 5,400 |
| 10 | 築地西町 | 9,000 | 10,800 | 2,340 | 6,480 | 48 | 愛宕下西丁親交会 | 28,000 | 30,800 | 5,590 | 15,120 |
| 11 | 築地陸会 | 1,000 | 1,000 | 0 | 1,000 | 49 | 愛宕下南丁 | 10,000 | 12,000 | 2,600 | 7,200 |
| 12 | 榎山本新町上丁 | 11,500 | 21,600 | 5,330 | 14,040 | 50 | 愛宕下北丁 | 16,000 | 20,400 | 4,420 | 11,520 |
| 13 | 榎山本新町下丁 | 28,000 | 36,000 | 6,500 | 18,000 | 51 | 愛宕下中丁 | 13,500 | 16,200 | 3,510 | 9,720 |
| 14 | 榎山上本町 | 10,000 | 18,000 | 5,000 | 10,800 | 52 | 城南町 | 26,000 | 28,000 | 8,450 | 23,400 |
| 15 | 榎山本横町 | 6,500 | 15,000 | 3,000 | 8,280 | 53 | 金照寺山 | 11,500 | 10,000 | 10,000 | 12,600 |
| 16 | 内木町 | 17,500 | 17,500 | 4,550 | 12,600 | 54 | 榎山寺小路北部 | 8,700 | 4,700 | 1,850 | 13,320 |
| 17 | 榎山本町下丁 | 9,500 | 11,400 | 2,470 | 6,840 | 55 | 榎山寺小路南部 | 10,000 | 11,000 | 5,000 | 13,680 |
| 18 | 榎山古川新町 | 12,000 | 79,000 | 20,000 | 47,000 | 56 | 城南みなみ | 9,000 | 15,000 | 5,000 | 10,400 |
| 19 | 百石橋通り | 13,500 | 15,400 | 2,500 | 6,840 | 57 | 榎山石塚谷地 | 6,000 | 24,000 | 5,000 | 14,400 |
| 20 | 柗取町親睦会 | 10,000 | 20,200 | 3,510 | 9,720 | 58 | 榎山(大元町) | 69,000 | 92,000 | 25,000 | 36,000 |
| 21 | 末無町 | 26,400 | 31,200 | 8,840 | 24,480 | 59 | 榎山石塚町 | 28,500 | 31,000 | 11,700 | 32,400 |
| 22 | 医王院前町 | 19,350 | 19,350 | 5,590 | 15,480 | 60 | 榎山石塚新町 | 51,000 | 48,000 | 20,000 | 59,040 |
| 23 | 榎山広小路 | 5,500 | 8,500 | 3,380 | 9,360 | 61 | 太田町本町 | 9,500 | 17,800 | 1,430 | 8,640 |
| 24 | 榎山虎ノ口新町 | 21,000 | 28,000 | 9,100 | 25,200 | 62 | 太田町山水会 | 8,400 | 16,800 | 3,640 | 10,080 |
| 25 | 南新町 | 100,000 | 100,000 | 26,000 | 72,000 | 63 | 太田町東部 | 6,600 | 14,000 | 4,030 | 11,880 |
| 26 | 森林管理局第一 | 9,500 | 11,400 | 2,470 | 6,840 | 64 | 太田町睦会 | 4,000 | 11,400 | 1,560 | 4,320 |
| 27 | 太平 | 8,500 | 10,200 | 2,210 | 6,120 | 65 | 太田町栄町 | 8,500 | 7,400 | 2,210 | 5,760 |
| 28 | 牛島橋通町 | 6,480 | 37,400 | 7,020 | 19,440 | 66 | 太田町南町 | 12,000 | 14,400 | 3,120 | 8,640 |
| 29 | 牛島橋通り南部 | 13,000 | 15,600 | 3,510 | 9,360 | 67 | 太田町新町 | 15,000 | 25,000 | 3,900 | 10,800 |
| 30 | 榎山共和町 | 6,500 | 7,200 | 1,690 | 4,680 | 68 | 太田町旭町 | 11,500 | 11,800 | 2,340 | 6,480 |
| 31 | 榎山下浜町 | 17,000 | 24,500 | 7,930 | 21,960 | 町内会合計 | | 1,227,230 | 1,613,050 | 418,160 | 1,107,800 |
| 32 | 川口境西部 | 15,000 | 20,000 | 3,900 | 10,800 | 秋田南中学校生徒会 | | | 17,917 | | |
| 33 | 登町南部 | 43,000 | 52,400 | 11,050 | 30,960 | 築山小学校児童会 | | | 6,727 | | |
| 34 | 川口境東部 | 50,000 | 51,000 | 9,100 | 25,200 | 城南園 | | | 2,399 | | |
| 35 | 若草団地 | 10,000 | 30,000 | 13,000 | 36,000 | グラウンドゴルフ友の会 | | | 73,000 | | |
| 36 | 入川橋 | 12,500 | 17,000 | 3,380 | 9,000 | その他 | | 10,000 | 3,000 | | |
| 37 | 十軒町 | 8,500 | 11,200 | 2,210 | 6,120 | | | | | 3,258世帯 | 3,077世帯 |
| 38 | 米沢町 | 9,000 | 12,400 | 2,470 | 6,480 | 総計 | | 1,237,230 | 1,716,093 | 418,160 | 1,107,800 |

自助、共助の意識、よりの高く

令和第1回 防災研修会開く

「自然災害における地区の防災・減災」をテーマに、築山地区防災研修会が7月28日、榎山コミュニティセンターで開かれました。写真Ⅱ。

秋田市防災安全対策課職員のスライドなどを使った解説に、参加者からは様々な質問や意見が出され、日ごろから高い関心を寄せていることが伺えました。



防災への認識を深めた第1回研修会

研修会には、町内会長や自主防災組織、民生委員、福祉協力員、コミセン、中通包括支援センター、地区住民ら約110名が参加。防災安全対策課の山本志津主査と伊藤樹希主事が、スライ

ドを使って防災に関する基本理念、指定避難施設、築山地区の特徴、避難情報などについて解説を行いました。

この中で兵庫県南部地震時に、生き埋めや閉じ込められた際の救助を紹介。▽自力で34・9%▽家族に31・9%▽友人、知人に28・1%▽通行人に2・6%▽救助隊に1・7%となっており、自助、共助で約98%と大部分を占めた実態が示されました。災害が大規模なほど、公助の手が回らないことは明らかで、自助、共助の大切さを痛感させ

《避難情報等》

| 警戒レベル | 避難行動等 | 避難情報等 |
|---------------|---|--------------------------------------|
| 警戒レベル1 | 災害への心構えを高めましょう | 早期注意情報(気象庁が発表) |
| 警戒レベル2 | 避難に備え、ハザードマップなどで自らの避難行動を確認しましょう | 洪水注意報(気象庁が発表) 大雨注意情報等(同) |
| 警戒レベル3(高齢者避難) | 避難に時間のかかる高齢の方や障がいのある方乳幼児などは、支援の方と共に避難を。その他の方は避難準備をしましょう | 避難準備・高齢者等避難開始(市町村が発令) |
| 警戒レベル4(全員避難) | 速やかに避難先へ避難しましょう。移動が危険と思われる場合は近くの安全な場所や自宅のより安全な場所へ避難を | 避難勧告 避難指示(緊急) (市町村が発令) |
| 警戒レベル5 | 既に災害が発生している状況。命を守るための最善の行動をとりましょう | 災害発生情報 (市町村が発令) |
| 《防災気象情報》 | | |
| 警戒レベル3相当情報 | 氾濫警戒情報 洪水情報 等 | 左記の相当情報は、住民が自主的に避難行動をとりために参考とする情報です。 |
| 警戒レベル4相当情報 | 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等 | (国土交通省、気象庁、都道府県が発表) |
| 警戒レベル5相当情報 | 氾濫発生情報 大雨特別警戒 等 | |

◎内閣府ホームページ「防災情報」を参照しました。

「警戒レベル3」「警戒レベル4」などの言葉が、災害関連の報道でよく聞かれます。

これは国が(避難勧告等に関するガイドライン)を改定(平成31年3月)したことに伴うもので、水害や土砂災害について、市町村が出す避難情報と国や都道府県が出す防災気象情報を5段階に整理した結果です。上記の一覧表にまとめました。

防災情報をもっと理解しよう

ポイントは、住民が「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自らの判断で避難行動をとる、ことを基本に置き、そのための情報を発信することにあります。

多くの場合、防災気象情報は市町村が発令する避難勧告等よりも先に発表されます。このため、警戒レベル3相当情報とか警戒レベル4相当情報が出たならば、市町村の避難勧告等の発令前でも、自らの判断で避難することを求められます。

られました。

指定避難施設については、①指定緊急避難場所②指定避難所③福祉避難所などについて説明があり、築山地区は築山小、秋田南中、城南中、築山小グラウンド、秋田南中グラウンド、城南中グラウンド、榎山コミュニティセンター等が指定避難所・避難場所であることが示されました。

また築山地区の特徴に触れ、日本海中部地震時に液状化現象が起きた榎山大元町周辺、太平洋流域の洪水警戒地域、土砂災害に備えたい城南中周辺の急傾斜地などが地図上に色分けされて示されました。

その後、土崎地区を地震・津波が襲った想定で作成した動画が披露され、そ

の破壊力の凄さに驚かされました。

最後に質疑応答が行われ、参加者からは「秋田市震度6といっても場所によつて揺れが違う。榎山地区はどう考えればよいのか」「雄物川決壊による浸水対策は」「一昨年の豪雨で太平洋流域に避難勧告が出たが、近くの築山小に行ったら閉まっていた。対応はどうなっているのか」「災害が起きた時、どこに避難すればよいのか。コミセンはどうなのか」など。市側は、情報入手に努め、早め早めの行動を心掛けることが肝要と述べました。

最後に築山学区町内会長連絡協議会の佐藤秀一会長が「研修内容を持ち帰り今後に生かしてほしい」と述べ、研修会を終了しました。

一人で悩まないで相談を！ —ひきこもり相談のご案内—

秋田県精神保健福祉センター
企画・指導班 専門員 飯塚 禮子

「ひきこもり相談支援センター」は、ひきこもりに関する相談窓口として、平成25年10月に秋田県精神保健福祉センター内(明徳館ビル1階)に設置し、活動を開始しました。

『ひきこもり』とは、6ヵ月以上自宅にひきこもって社会参加しない状態のことをいいます。その背景はさまざま、人との関係に傷ついて挫折したり、心の病気や障がいのある場合等もあります。そのため、対応もそれぞれ異なってきます。一人で悩んでいないで誰かに相談することが大事です。

【主な活動内容】

(1)電話や来所面接、必要に応じて訪問での相談支援です。ひきこもり状態にある方や、そのご家族などの相談に応じて、これからのことを一緒に考えて参ります。相談は匿名でもお受けします。また、本人や家族同士

が、安心して話せる交流の場(青年グループ、親御さんのつどい)も開催しています。

(2)本人が市関係機関等の協力を得ながら、就労体験を通して社会とのつながりをもつ、きっかけとなるようお手伝いしております。

(3)ひきこもり相談支援に携わる関係者の研修です。県内各地域の身近な相談窓口、即ち、保健所、市町村役場の保健や福祉の窓口、NPO(営利を目的としない組織)の支援機関、家族会、医療機関等の関係者が、講演やワークショップ等で相談技術を磨くための機会を設けています。

【相談のご案内】

◆対象者：原則18歳以上のひきこもり状態にあるご本人や、その家族など

◆相談時間：月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始を除く) 10時～16時

※面接相談は事前に予約が必要です。お問い合わせ先 ☎(831)2525 中通二丁目1-51(仲小路)

赤い羽根共同募金と 歳末たすけあい募金運動 へのご協力に感謝します

地区の皆様は例年お届けています「赤い羽根」は、秋田県共同募金委員会が発注している販売業者が、今年度の原材料の確保ができず、やむを得ず代替資材として「ありがとうステッカー」を使用することになりました。例年、「赤い羽根」を心待ちの皆様には失望された方もおられたかもしれせん。県共同募金委員会では、次年度に向けて対策を講じているようです。何卒ご了承をお願いいたします。

そうした状況にありながらも、地域の皆様や企業及び各商店等の方々から、多大な善意のお気持ちをいただきまして、心から感謝を申し上げます。各町内会長様及び民生委員の皆様からは、集金・納金等で多大なご尽力を賜りましてありがとうございます。

また、「老人クラブ」や「ゴルフ友の会」の方々からも、昨年以上に多額のご協力をいただきました。ことに深く感謝いたします。そして今年度も、城南園の皆様、築山小及び秋田南中の児童生徒と教職員の皆様からもご協力をいただきました。地域の子どもたちによる共同募金運動への取組に関しては、教育活動の一環として児童会や生徒会が主となって意欲的に活動していただきました。

皆様からご協力をいただいた善意は、秋田市共同募金委員会に全額納入

された後、その一部が地区への配分金として、次年度の敬老会開催などの地域の福祉活動の貴重な財源となります。(募金実績は第七面を参照)
なお、「歳末たすけあい募金運動」は、民生委員が把握された生活困難世帯や激励訪問の対象世帯、地区内の福祉施設などに、町内会長・福祉協力員の皆様からもご協力を得ながらこの事業を推進しています。各募金運動にご協力をいただきましたお一人お一人の皆様は心より深くお礼申し上げます。
(築山地区共同募金会)

日赤会費への協力に感謝

二〇一九年度「赤十字活動資金」への築山地区の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。日本赤十字の活動には「災害救護活動」「国際活動」「赤十字講習」「赤十字ボランティア」「青少年赤十字」等があり、皆様からの会費がそれぞれの運営に充てられています。(日赤会費は第七面を参照)

最近の台風や集中豪雨による被害では洪水はもろろですが、停電や水道が使えないことによる生活被害の大きさがクローズアップされてきました。そこで注目していただきたいのが「赤十字講習」です。着衣のままの水泳や屋外トイレの使い方、ビニール袋を使ったご飯の炊き方などです。

各町内で、この講習を行うことが皆様の会費の還元にも通じると思っていますのでご検討いただきたいと存じます。
(日本赤十字社秋田市地区築山分区分)



稲岡講師の実体験も踏まえ、より具体策を学んだ

本年度2回目の防災研修会が10月23日、楢山コミュニティセンターで開かれました。講師は日赤県支部参事の稲岡一枝さん。「避難所で役立つ知識と技術」をテーマにしつつ、災害時の心得を実技を交えて幅広く紹介しました。第2回研修

他人事ではない、という自覚を

研修会には、町内会長や自主防災組織、地区住民ら約90名が参加。地区社協の加藤俊悦会長が挨拶した後、稲岡参事がスライドなどを使って次々と災害時の対応策を説きました。

稲岡さんは、まず参加者に普段の災害への備えを問いかけ、「一度も被害が起きてないから心配ないは、通用しない」と警告し、「誰にでも起こる、という感覚を」と訴えました。

2年前の県内の豪雨で水が自宅に迫った経験から、テレビで大雨情報をよく確認するようになった高齢の独居女性の例も挙げました。

空いた三角スペースに逃れる

他人事でない自覚の上で急いでほしいのは、非常持出袋の準備。見えない場所に置いては、いざという時に探して逃げる遅れます。稲岡さんは玄関脇などを勧めました。中身も詰め込みすぎないこと。ただしお薬手帳のコピーは必携。

地震の時グラツときて机の下にもぐる一大正解。だが机がないときどうする。稲岡さんは「居間とか寝室で家具などが倒れてきたときに三角スペースができる。そこに体を寄せるのは有効」と言います。普段からこうした隙間

を意識することは大事です。

地震と同様に、豪雨への対応も重要になってきていると稲岡さんは指摘しています。最近では雨の降り方が以前とは違ってきており、1時間当たり80ミリ以上の豪雨が、1・7倍に増えていて、ピンポイントで襲う傾向があるからです。大雨から命を守るために①早めに安全な場所へ避難②声を掛け合いながら皆で避難③避難が危険な場合は

非常持出袋は玄関脇に 災害時の心得を紹介

日赤県支部参事
稲岡さんが講演

自宅の2階、崖が近いなら窓から離れた場所へ、と留意点を挙げました。さらに大雨に関する情報も知っておいてほしいとも。住民がとるべき行動としてレベル1〜レベル5まであります。(前ページ参照)

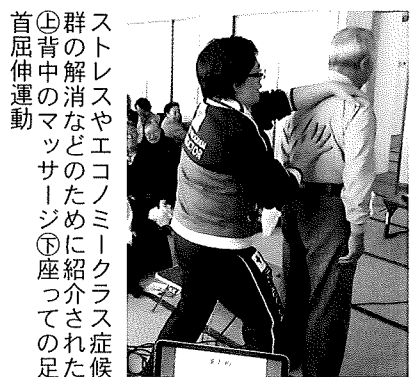
ハザードマップで地域を知る

避難する際の情報入手として、携帯ラジオを強調しました。非常持出袋には忘れずにと。

稲岡さんは、ハザードマップの活用を求めました。一度ハザードマップを手元に非常持出袋を背負い、避難所まで

の安全なルート歩きを歩いてみる、ということ。この訓練によって地域を知り、人を知り、顔なじみになって、いきなり災害を迎えてパニックになることは防げるというのです。

バイアス(心理的な偏り)の話は興味深いものでした。つまり「まさかそんなことが起こるはずがない。物知りや代表者が「大丈夫」と言っているからそうなんだろう」とか「あ



ストレスやエコノミークラス症候群の解消などのために紹介された①背中を伸ばす②座り姿勢の足

の人があわてていないから心配ない」といった心理状態が、結果として逃げ遅れにつながる指摘。状況を客観的に把握し、早めの行動が大事と言うわけです。

ストレス反応と正しく向き合う

非常事態に遭遇すると、人は体がだるい、眠れない、血圧が上がる、脈拍も早くなる、といったストレス反応が誰にでも起きると言います。避難所の入所者だけでなく、世話をするリーダーや役場の職員も同様です。「疲れて苦しい、つらい気持ちを思いっきり吐き出すことが、日本人は苦手です。特に男性はできないひとが多い」と稲岡さん。それでも東日本大震災で支援しつづきりした表情になった男性の例を語り「ストレスへの理解も不可欠」と話し、締めくくりました。

研修会は、築山学区町内会長連絡協議会の佐藤秀一会長が謝辞を述べ終了しました。

長寿を共に喜び祝う

令和最初の築山地区敬老会は、昨年9月17日、午前11時から榎山コミュニティセンターで開催しました。地区の75歳以上の男性54名、女性70名の合わせて124名が参加し、楽しいひと時を過ごしました。



会では、地区内の物故者への黙とうを捧げた後、加藤俊悦会長があいさつし「会場の舞台、座席など手作りで行ってきたが、多くのご高齢の方々がご協力くださり、頭が下がる思いです。今後とも地域作りへのお力添えを願っています」と語り、日ごろのご労苦に感謝すると共に、ご長寿をお祝いしました。

引き続き、来賓の秋田南中学校・渡邊政志校長、築山小学校・大友智加司

話弾む令和元年の敬老会

校長から祝辞をいただき、祝電も披露されました。

次いで敬老者を代表して榎山クラブ会長の佐川喜代四さん(86)が「地域の皆様が築き上げてきた人情、風土など大切なものを模範とし、引き続き令和時代の福祉活動に励んでいきたいと考えています。本日はありがとうございます」と挨拶は、榎山交番の齊藤祥枝所長が



④ならやま認定こども園(榎山保育園)の園児が元気に遊戯を披露。お年寄りに笑顔があふれる。

⑤築山小学校1年生の大きな歌声が広がり祝宴のムードが盛り上がる。

写真で見るとまちの動き



「サロン・ならこみ」が誕生。孤立しがちな一人暮らしの方々が集い、明るく元気にと榎山コミセンで開催。8月④、11月⑤と2回開かれ、会場には笑顔と笑い声が絶えなかった。



地域貢献活動の一環として秋田南中学校の3年生30人が、太平川堤防の百石橋・牛島橋をクリーンアップ。(昨年10月24日)



川口デイサービス利用者の折り紙、小物入れなど手作り作品が、榎山コミセン祭りで披露され、好評だった。(昨年10月19、20日)



築山児童センターでこどものつどいが開かれ、ユニカールやクジ引き、工作、魚すくいなどを楽しんだ。(昨年11月13日)



運動不足解消を狙いに、軽スポーツ大会が榎山コミセンで開催。40人が参加。箸の使い方に苦労しながらもリフレッシュ。(昨年11月16日)

地域活動

みどり保育園児を招き「幼児と高齢者の集い」を榎山コミセンで開いた。コマ回し、カルタ、折り紙など遊びを通じて交流が深まりました。(1月14日)



築山竿燈まつり部が繰り出す技とお囃子に会場から拍手がわく。

秋田県民歌の合唱。会場からリクエストがあり追加となりましたが、榎山合唱クラブの皆様協力もあって参加者全員で歌い上げました。

万歳三唱は、一ツ森クラブ会長の長谷川誠志さん(83)が行い、健康で来年も再会できることを誓い合いながらお開きとなりました。



ザ・カウンセラーズのバンド演奏。さわやかなサウンドに包まれた。

行い、祝宴に入りました。会場では地区社協の役員、福祉協力員、民生児童委員らが手伝いに当たりました。

ステージや館内では、ならやま認定こども園園児の歌やお遊戯、築山小学校1年生の歌とご挨拶、築山竿燈まつり部の竿燈演技が披露されました。元気いっぱいのお歌や踊り、演技に、お年寄りたちの顔はほころび、子ども達の握手やハイタッチを喜びました。

さらにゲスト出演として、築山小、秋田南中のPTA会長で秋田市職員の鈴木孝友さんらで結成したバンド「ザ・カウンセラーズ」が登場。昨年7月、アグラ広場で開かれた第1回アマチュアバンドグランプリで最優秀賞に輝いており、西城秀樹の曲などを熱唱し会場を盛り上げました。演芸の締めは、

75歳以上は1380名

築山地区に住んでいる本年度75歳以上の敬老会該当者は、男性511名、女性869名、合計1380名を数え

ました。百歳以上7名、99歳8名、98歳5名、97歳13名と続きます。ご長寿を心からお祝い申し上げます。当社協では該当者に対し、記念の品として商品券を贈らせていただきました。